



エコネット通信

VOL.26



5月の森楽倶楽部で出会ったフデリンドウ。

森を川をこの里の自然を子ども達へつなげたい！

ホームページ：<http://tono-econet.org/> フェイスブックでも情報発信中！

森の中で過ごす素敵な夏のイベント

森フェス2022 in 遠野 開催決定！

メインゲストにヒダクマ来遠

今年の夏は、遠野の森へ集まれ！

7月30日(土)～31日(日)に、遠野薪の駅周辺の森(左写真)で「森フェス2022」を開催します。

メインゲストには、昨年視察研修に伺った



岐阜県飛騨市から、(株)飛騨の森でクマは踊る
＝通称ヒダクマの代表取締役COOである松本剛氏が来て下さいます。ヒダクマでは、滞在型ものづくりカフェ「FabCafe Hida」をオープンしたり、「広葉樹のまちづくり学校」など、森林資源を活かした多様な地域づくりを飛騨市で展開しています。

このフェスでは、松本氏にヒダクマの活動を紹介いただきながら、これからの森を活かした地域づくりについて、森の中で語らえたらと考えています。また、当会代表の千葉和とのトークセッションも予定しています。どんな話が聞かれるか、今から楽しみます。

更に糞土師の伊沢氏も

もう一人のメインゲストが、伊沢正名氏です。伊沢氏はキノコやコケなどを撮影する自然写真家である一方、ノグソ歴47年で、その間の13年間は一度もトイレを使わずノグソした記録？を持っている凄い方です。お尻を拭くのも紙ではなく葉っぱで、8年間で数千のデー

タをとり、『葉っぱのぐそをはじめよう』という本にまとめています。

伊沢さんは「自分のウンコと命に責任を持つ生き方をしたい。」と、糞土師という肩書きで、野糞を広める活動をしています。「そもそも人間は、命ある生きものを食べて命を奪い、ウンコに変えている。ウンコには、その命の責任が詰まっている。でも、人間はそんなウンコをトイレに流してしまう。食は権利、ウンコは責任、野糞は命の返し方」という糞土思想を掲げ、全国各地で講演会を行っています。森フェスでは、お話とフィールドワークをする予定となっています。

アート・体験会・マルシェも

この他にも、森フェスは盛りだくさんの企画が進行中です。例えば、森の中のヨガや、ツリークライミング、森のアート体験、チエーンソーアートや音楽祭などもあります。この他に、エコネットで行っている間伐を体験するブチ山仕事体験や薪割り、炭焼きやツル細工&リースづくり、森のようちえんの体験会もあります。

また、大槌町で獣害対策に取り組む(株) m i j i のジビエコーナーや木工作家の作品、オーガニック農産物などのマルシェも予定しています。

より多くの人に、森に来ていただき、森の素晴らしさを感じながら、森と人とのより良い未来を考えるきっかけとなるイベントにしたいと考えています。このフェスでは、ボランティアスタッフも募集中です。みなさまのご協力をお願いします。

第9回 田瀬湖一斉清掃&ごみ川柳大会 4/24(日)

平成18年に当会が主催して始まった「ごみ川柳大会」。今年は田瀬湖全域を巻き込む形で、実行委員会の事務局を当会が行う形で9回目となりました。この日は快晴に恵まれ、遠野市と花巻市を中心に岩手県内から104名が参加。田瀬湖の上流部である柏木平地区と田瀬湖B&Gセンターから田瀬ダム堰堤区間への2グループに分かれて清掃活動を行い、700kgのゴミを回収しました。清掃活動後には恒例となった川柳大会も行い、14名の入賞者にスポンサーからの賞品が授与されました。10回目となる来年も同時期に開催予定です。皆様の参加をお待ちしています。



ごみ川柳大会で、宮守町柏木平地区での清掃活動の様子。

森のようちえん「どんぐりのぼうし」 4/16(土)5/21(土)

昨年度から準備を始め、いよいよこの4月から月一の定期開催が始まった森のようちえん。今年度はスタッフもまだ慣れないこともあり、親子での参加となっています。1回目の4月は4組の家族、5月は3家族に参加いただきました。子ども達は、それぞれにペースが違いため、じっと田んぼでオタマジャクシを追いかける子どももあれば、森の中の急坂をどんどん登る子どももあります。森遊びの後には、畑で野菜の種まきや苗の植え付けもしました。泣き出す子どもや、眠っちゃう子もありますが、大自然の中で子ども達の小さな発見や驚きに寄り添い続けたいと思います。また、5月5日には、2回目の森のバザーを開催し森のようちえんの活動を紹介できました。



森のようちえんで、羽化したばかりのトンボを見つけました。

森のデイキャンプ「おひさまのねっこ」 4/9(土)5/15(日)

4月のデイキャンプの参加した小学生は12名。これまで、お兄ちゃんの見送りに同行していた新1年の生子ども達も元気に参加しました。午前中はオッホーの森へでかけ、帰りは川遊びも。お昼には、バツケ(フキノトウ)などを天ぷらにして食べました。また、午後は今年育てる稲の種まきもしました。

5月は19名というこれまでで最多の小学生が参加しました。午前中は森探検を、そして午後には畑に畝づくりをして、ジャガイモや里芋を植えました。来月は、いよいよ田植えとなります。



デイキャンプで、オッホーの森で木登り遊びしました！

山仕事はじめての一步(入門)講座 5/8(日)

今年度で11期目となる講座が5月から始まりました。この日の参加者は13名で、午前中は薪の駅でチェーンソーの取り扱い方の実習を。午後は薪の駅近くの杉実習林で、混み具合を計測する林分調査の手法を実習しました。6月からは本格的な間伐の実習が始まります。まだ定員に余裕がありますので、お知り合いなどで興味ありそうな方にお声がけをお願いします。



5月の山仕事講座で、チェーンソーの構造を学ぶ受講生。

薪づくり倶楽部&森の笠地蔵プロジェクト 4/3(日)

4月の薪づくり倶楽部は快晴に恵まれ、17名と2名の子どもが参加し、元気に薪づくりを行いました。また、森の笠地蔵プロジェクトとして、午前中には綾織町の高齢者のお宅に、午後は松崎町の高齢者のお宅に、それぞれ軽トラック3台分の薪を届けることが出来ました。5月は雨天となったため、活動はそれぞれ中止しました。来シーズンへ向けて薪が減って来たため、次の冬シーズンで高齢者宅に配布する薪づくり参加者を募集中です。



薪づくり倶楽部には、新規の参加者が増えています。

活動報告（4月～5月）

川の体験活動指導者養成講座 5/7(土)

もうすぐ暑い夏がやって来る。そんな夏に、子ども達を川や水辺で思いっきり遊ばせてあげたい。でも、水辺には、陸上と違うリスクがいっぱいあります。この講座では、宮城県のくりこま高原自然学校校長の塚原俊也氏を講師に、安全管理や指導法を座学と実習で学びます。第1回目の5月は11名が参加し、附馬牛地区センター会議室で川の基礎知識と安全管理を講習し、午後には近くの猿ヶ石川で、生きもの探しや救助法を実習しました。



川の自然体験指導者養成講座では、レスキュー訓練もしました。

水源の森づくりプロジェクト 5/24(火)

遠野市の水源地である琴畑高原を森に再生する活動です。今年も、地元の土淵小学校4年生10名とともに、森林管理署や市役所の職員にも協力をいただき、ミズナラの苗木を植樹しました。植樹後には、ホンシュウジカによる食害防除のためのチューブを設置。しばらく雨が見込めないため、沢から水をバケツで汲んで、坂道を上り下りしての苗木への水やりも、子ども達は頑張ってやり遂げることが出来ました。この子達とは、5月11日に事前学習会を実施し、今後は7月に苗木周囲の草刈り、そして10月にはドングリを拾い、学校の畑に種まきも予定しています。



琴畑高原での植樹。小学生達は固い土を頑張って掘りました。

森業倶楽部作品展 4/16(土)～4/30(土)

薪にするにはもったいない間伐材を製材し、木工に取り組んでいる森業倶楽部。令和3年度の参加者が製作した作品展を、遠野市役所本庁舎1階の多目的広場で開催しました。会場に置いていた感想ノートには、「木のぬくもり、暖かさが伝わります。」や「素晴らしい作品で販売して欲しい。」という声がありました。また、「人が足を運ばなくなった山林の活用に敬意の気持ちでいっぱいです。」という嬉しい声もありました。5月からは今年度の森業倶楽部も始まり、間伐などの体験を行いました。



森業倶楽部作品展で展示作業後に参加者で記念撮影。

森業倶楽部 5/14(土)

3年目となった森を楽しもう！という活動です。今年度も西和賀町カタクリの会代表である瀬川強さん陽子さん夫婦を講師に開催します。1回目となるこの日の参加者は11名。薪の駅に集合した後に、今年度から当会で手入れをする山で自然観察を行いました。中には、瀬川氏も一度しか見たことが無いというアミガサタケという珍しいキノコやフデリンドウが可憐な姿を見せてくれました。また、お昼にはこの時期恒例の山菜を天ぷらにいただきました。次回は8月の開催となります。瀬川夫婦のエスコートで、森の魅力がぐっと深まりますよー。



瀬川さん夫婦の解説で、森歩きが楽しくなります。

炭っこ倶楽部(遠野緑峰高校3年) 5/26(木)

この日は薪の駅にて、遠野緑峰高校3年生7名と炭窯からの炭出し、炭の袋詰め、炭材の窯内への立て込み、そして夕方には火入れまで作業を行いました。また、3月の地震の影響で炭窯にヒビ割れが入ったため、割れた場所に粘土を詰める補修も行いました。この生徒達は、昨年度から何度か行っていたため、細かいことを指導されなくても率先してできるまでになりました。この生徒達は就職活動が始まるため、今回で最後となる予定でしたが、寒い日も暑い日も耐えて炭焼きした経験は、彼等の貴重な財産となることでしょう。



炭窯から炭出しをする緑峰高校の生徒達。

主な活動の予定（6月～7月）

月日	タイトル	内容	活動場所
6/4(土)	第2回水辺の自然体験活動指導者養成講座	川下りの安全管理他実習	猿ヶ石川他
6/5(日)	薪づくり倶楽部/森の笠地藏P	薪づくり、薪配達他	薪の駅、高齢者宅
6/6(月)	遠野市副校長会研修	エコネット活動紹介	浄化センター会議室
6/11(土)	森のデイキャンプ	森探検と田植え体験	オッホーの森
6/12(日)	山仕事はじめの一步(入門)講座	間伐実習他	松崎実習林他
6/18(土)	森のようちえん	森のおさんぽ、田植え体験	オッホーの森
6/18(土)	焚き火夜会2022	焚き火を囲み平和を語らう	オッホーの森
6/19(日)	炭っこ倶楽部	子ども発明クラブ炭焼き体験	薪の駅他
6/25(土)	間伐倶楽部	間伐・集材体験	松崎実習林
6/26(日)	森業倶楽部	つるの採集、ツル細工	松崎実習林、薪の駅
7/2(土)	第3回水辺の自然体験活動指導者養成講座	シャワークライミング実習	猿ヶ石川他
7/2(土)	「すっぴん土曜日」放送(代表千葉)	エコネットの活動紹介予定	IBCラジオ(9時30分頃)
7/3(日)	薪づくり倶楽部/森の笠地藏P	薪づくり、薪配達他	薪の駅、高齢者宅
7/4(月)	水源の森づくりプロジェクト	苗木計測、草刈り(土淵小)	琴畑高原
7/9(土)	森のデイキャンプ	森探検と生きもの探し	オッホーの森
7/9(土)~10(日)	夏のエコキャンプ事前合宿	学生スタッフの研修	張山環境保全林
7/10(日)	山仕事はじめの一步(入門)講座	間伐、掛かり木処理実習	松崎実習林他
7/16(土)	森のようちえん	森のおさんぽ、畑づくり他	オッホーの森
7/23(土)	間伐倶楽部	間伐・集材体験	松崎実習林
7/24(日)	森業倶楽部	間伐材の木工	薪の駅他
7/30(土)~31(日)	森フェス2022 in 遠野	ゲストのトークや体験各種他	松崎実習林他

【編集後記】

当会の活動をより多くの方々に知っていただくために、リーフレットを新たに作成しました。当会への入会のお誘いや寄附への協力をお願いする際に活用していきます。



事務局にリーフレットは多数あります。当会の活動の紹介を手伝っていただける方はお送りしますので、ご一報下さいませ。よろしく申し上げます。(千葉)

発行: NPO法人遠野エコネット
令和4年6月6日発行
岩手県遠野市附馬牛町上附馬牛19-530
Tel&Fax 0198-64-2250
E-Mail: pahaya@tonotv.com



昨年の焚き火夜会。

参下さい。

また、オブションとして、田植えやドラム缶風呂、森遊び、キャンプもできます。参加費は無料ですが、夕食や軽食、お好きな飲み物の他、レジャーシートを持

語り合えたらと思います。

「イマジン」などを一緒に歌えたらと考えています。

「焚き火夜会」を開催します。今年はウクライナで起きている

焚き火夜会2022 (夏至前々夜祭)

夏は普段忘れがちな宇宙の巡りや太陽への存在を考える時です。6月18日(土)に、夏至の前々夜祭として、2回目となる「焚き火夜会」を開催します。今年にはウクライナで起きている

夏は普段忘れがちな宇宙の巡りや太陽への存在を考える時です。6月18日(土)に、夏至の前々夜祭として、2回目となる

「焚き火夜会」を開催します。今年にはウクライナで起きている

夏は普段忘れがちな宇宙の巡りや太陽への存在を考える時です。6月18日(土)に、夏至の前々夜祭として、2回目となる

「焚き火夜会」を開催します。今年にはウクライナで起きている

夏は普段忘れがちな宇宙の巡りや太陽への存在を考える時です。6月18日(土)に、夏至の前々夜祭として、2回目となる

「焚き火夜会」を開催します。今年にはウクライナで起きている